

Wellendorff

Photographs by Shigeki KURIBAYASHI
Text by Rica OGURA



仲睦まじいゲオルク・ウェレンドルフ氏と妻のクラウディアさん。
ゲオルク氏は兄クリストフ氏と一緒にブランドを運営しながらマニュファクチャーを統括する。

130年の時を刻む ファミリービジネス ウェレンドルフの奇跡

ド イツのプフォルツハイムで1893年に創業し、ヨーロッパの王室のためのジュエリーを作り始めた「ウェレンドルフ」。130年という長い歴史を刻むことができた理由を、兄のクリストフ氏と共に4代目を継ぐゲオルク・ウェレンドルフ氏はこう語る。「つねに革新的な作品を生み出し、3つのユニークなジュエリーが登場したことです。ブランドを代表するのは、シルクのように滑らかなつけ心地の「シルクコーデルネットレス」。また、兄と私で開発した回転する「マジックリング」などがあります。最新のものでは、片手で簡単に手首に巻くことができる、しなやかなプレスレットの発明で、こちら

も特許を申請しています」。さらに、ウェレンドルフ家に伝えられてきたモットーについても教えてくれた。「ヴァーレ・ヴェルテ(本物の価値)を信じて、モノ作りを行うこと。そのために、つねに最高の素材、職人、工具を揃えなさいと言われてきました。そうすれば自然と最高のジュエリーが生まれ、感性が高い人の心を捉えることができます。130年前からいち早くリサイクルゴールドを100パーセント使用していますが、それもサステナブルな素材は、本物の価値を守るために必要だからです」。

そして、こういった理念を実現できるのは、ファミリービジ



兄クリストフ氏と共に開発した人気の回転するリング。きっかけは、兄の息子アレクサンダーが誕生し、祖父の名を授かったこと。始まりも終わりのない人生を絶えず回る指輪として表現した。また、愛の象徴としてこの指輪にはハートモチーフがあしらわれている。
左から、YG、ダイヤモンド、4,224,000円、
YG、WG、ダイヤモンド、3,234,000円、
WG、ダイヤモンド、4,389,000円(すべて税込)

ネスだからこそだと言う。「家族はマッチ棒のようなもの。1本では簡単に折れてしましますが、重なる互いに支え合い、簡単には折れないからです。そのためにも、世代を超えてコミュニケーションを密に取り、家族同士が理解し合うことが不可欠です」。ゲオルクさんの妻クラウディアさんは、「この家に嫁いで、二つの家訓を学びました。一つは、家族とは人生の様々なことを試す遊び場だということ。実際、新しいジュエリーが完成するまでは、一家の妻たちが最初に試着し、改良を重ねていきます。もう一つは、自分の意志よりも、家族の意志を尊重するというもの。ある意味、ロイヤルファミリーと同じく、より大きな使命のためには、個より家族を優先するということです。これこそ、途切れることなく創業者ファミリーでビジネスを存続できている秘訣です」。ゲオルク氏は、続けてこう締めくくった。「私たちにとって、ファミリーとは世界中のスタッフから、ブランドを愛してくれるお客様までを含みます。一度購入してくれた方がファンになり、さらに次の世代へとジュエリーを受け継いでくれたら、これ以上嬉しいことはありません」。

写真・栗林成城 文・小倉理加